

## 夏のイベント情報

### ●第41回高田城址公園観蓮会

「上越蓮まつり」は、高田公園の名称が高田城址公園に変更されたことに併せて、名称を「高田城址公園観蓮会」に変更し開催します。公園の外堀約19ヘクタールを埋め尽くす蓮は、紅い花と白い花が入り交じった様子が美しく、その美しさから、「東洋一」と称されています。蓮が持つ清廉な雰囲気や、多くの蓮が咲き誇る壮観な様子をご覧ください。また、期間中は、高田本町商店街でも蓮鉢の設置や商店街のイベントを予定しています。

▶とき…8月23日⑩まで ▶ところ…高田城址公園、高田本町商店街 ▶問合せ…高田城址公園観蓮会実行委員会事務局((公社)上越観光コンベンション協会内、☎025-543-2777、FAX025-545-1113)



### ●第95回謙信公祭

郷土の英雄、上杉謙信公の武勇と遺徳を讃え偲ぶ、伝統ある祭りです。狼煙上げや春日山神社祭典、武禊式などを行います。

▶とき…8月16日⑩ ▶ところ…春日山城跡、春日山神社ほか ▶開催する行事…狼煙上げ、春日山神社祭典、武禊式、謙信流陣太鼓の演奏、「謙信公の塩」献上の儀式、武道披露、越後上越上杉おもてなし武将隊による演武 ▶問合せ…謙信公祭協賛会事務局(観光交流推進課内、☎025-526-5111、内線1385)



### ●関連イベント「特別版『御城印』の頒布」

謙信公祭にあわせ、「春日山城」「高田城」の文字が金色の特別版「御城印」を頒布します。

▶とき…8月16日⑩ ▶ところ…「春日山城」=埋蔵文化財センター、「高田城」=歴史博物館 ▶価格…300円 ▶問合せ…文化行政課(☎025-545-9269 内線1242)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会場へお越しの際は、対人距離を2m程度(最低1m)確保するとともに、「手洗い」や「咳エチケット」の徹底をお願いします。また、発熱や風邪のような症状がある場合には、ご来場をお控えいただくなど拡大防止にご協力をお願いします。

## 令和3年度採用 市職員を募集します

### ●試験職種・受験資格(1つの職種に限り受験できます)

試験職種		募集人数	受験資格
Ⅱ種 (短期大学 卒業程度)	保育士	4人程度	平成6年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人で、保育士となる資格を有する人または令和3年3月31日までに取得する見込みの人
障害のある人 (高校生を 含まない)	一般行政	2人程度	次の全てに該当する人 ・昭和54年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人 ・障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳)の交付を受けている人

▶とき…第一次試験日=9月20日⑩ ▶ところ…試験会場=市民プラザ ▶申し込み・問合せ…7月27日⑩~8月21日⑩の間に、人事課(〒943-8601 木田1-1-3、☎025-526-5111、内線1414・1447)へ。受験申込書類は原則、郵送で提出してください

詳しくは、試験案内書をご覧ください。試験案内書は、市役所木田庁舎総合案内と人事課、各総合事務所、南・北出張所や図書館などのほか、ハローワーク上越、表参道新潟館ネスパスにあります。また、市ホームページからダウンロードすることもできます。



### ●今後の予定

10月18日⑩にⅢ種(高校卒業程度)「一般行政」「土木」、障害のある人「一般行政(高校生を含む)」の試験を予定しています。詳しくは、広報上越9月号でお知らせします。

## 中山間地域農業のことを知ろう

[シリーズ②] 中山間地域農業の現状と展望

私たちにさまざまな「めぐみ」をもたらしてくれる中山間地域農業について多くの人に知っていただくため、前号からシリーズで紹介しています。

■問合せ…農村振興課中山間地域農業対策室(☎025-526-5111、内線1798)



### ■中山間地域農業の現状

中山間地域は、市内の耕作面積の約4割、農家数の約6割を占め、安心・安全で良質な棚田米など、私たちの暮らしに欠かせない食料の生産に大きな役割を果たしています。

しかし、区画の小さい不整形な水田が多く傾斜も急なため、経営の大規模化や大型機械の導入が難しく、平野部と比べて非常に生産条件が不利です。

このような状況にも関わらず、農業生産活動が継続されているのは、「きれいな湧水や豊かな土地を利用して美味しい農産物を作りたい」「先祖代々の土地を守りたい」「定年退職したので農業に専念したい」「周囲に迷惑をかけるのでやめられない」など、さまざまな理由があると考えられます。

どのような理由でも、中山間地域で農業が営まれていることで、私たちは多くの「めぐみ」を受け取ることができるのです。



中山間地域の水田(中ノ俣)

### ■中山間地域農業の将来「棚田が荒廃の危機に直面」

当市の人口減少や高齢化は、全国平均よりも10~15年早いペースで進行すると予測されており、特に中山間地域では一層深刻化すると見込まれています。過去10年間の当市の推移を見ると、人口は8%減少し、高齢化率は7ポイント上昇しています。中山間地域に限ってみれば、人口は16%減少、高齢化率は9ポイント上昇と、より深刻な状況にあり、このまま進むと、近い将来、これまで管理されてきた棚田が荒廃し、さまざまな「めぐみ」が失われます。

中山間地域の農業者の努力だけでは、棚田の荒廃を食い止めることは難しく、地域内外の人々が農業生産活動にひろく関わり、中山間地域の営みを支えるとともに、盛り上げていくことがいま何よりも必要です。



中山間地域支援隊によるボランティア活動(名立区不動地域)(市民カメラマン 竹田敬司さん)

### ■中山間地域農業の展望「農業者の思いを伝える」



田植え体験活動(柿崎区東横山)

農業者は、それぞれ「思い」を持って農業を続けています。これまで中山間地域農業と関わりのなかった皆さんに、農業者の「思い」を知ってもらうことが中山間地域農業への関心呼び起こし、これを守るための行動につながると考えられます。市ではこうした「きっかけづくり」を積極的に提供し、「市民みんなで棚田を守り育てる」という意識の醸成をさらに進めていきます。

次号は、「中山間地域で頑張る農業者」を紹介いたします。